

研究課題

「isolated proximal IgG4 関連硬化性胆管炎の診断と長期予後の多施設研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

IgG4 関連硬化性胆管炎で、自己免疫性膵炎の合併のない、診断時に 20 歳以上の成人の方で、1989 年 4 月 1 日から 2018 年 8 月 31 日までに診断された方です。

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究は、既存の診療録情報を用いた多施設共同の後ろ向きコホート研究です。日本全国の IgG4 関連硬化性胆管炎の診療を行っている専門施設を選び、アンケート調査を行います。isolated proximal IgG4-SC について、全国の AIP の high volume センターを中心にアンケート調査を行い、症例の集積と、臨床的特徴を明らかにし、ステロイド治療とその成績を検討します。

2. 研究に用いる試料・情報の種類

IgG4 関連硬化性胆管炎で、自己免疫性膵炎の合併のない患者さんの、カルテ上のデータを、パソコンを用いて統計学的に調べます。血液データ (IgG,IgG4,CA19-9)、胆管造影画像 (ERCP,MRI 画像)、超音波画像、内視鏡で採取された細胞検査所見、治療後(手術・ステロイド治療)の病気の再発までの期間などの項目を、アンケート調査で調べます。

4. 外部への試料・情報の提供

横浜市立大学へ収集した情報を提供する。

5. 研究組織

研究代表者

横浜市立大学附属病院内視鏡センター 教授 窪田 賢輔
を中心とした、自己免疫性膵炎の診療を行っている先端施設です。

研究責任者

名古屋大学医学部附属病院光学医療診療部准教授 廣岡芳樹

研究分担者

名古屋大学医学部附属病院	消化器内科	講師	川嶋啓揮
名古屋大学医学部附属病院	消化器内科	助教	大野栄三郎
名古屋大学医学部附属病院	消化器内科	病院助教	石川卓哉
名古屋大学大学院医学系研究科	消化器内科学	医員	田中浩敬
名古屋大学大学院医学系研究科	消化器内科学	医員	酒井大輔
名古屋大学大学院医学系研究科	消化器内科学	医員	西尾亮

名古屋大学大学院医学系研究科	消化器内科学	医員	鈴木博貴
名古屋大学大学院医学系研究科	消化器内科学	大学院生	飯田忠
名古屋大学大学院医学系研究科	消化器内科学	大学院生	植月康太
名古屋大学大学院医学系研究科	消化器内科学	大学院生	八鹿潤
名古屋大学大学院医学系研究科	消化器内科学	大学院生	山田健太
名古屋大学大学院医学系研究科	消化器内科学	大学院生	芳川昌功
名古屋大学大学院医学系研究科	消化器内科学	大学院生	宜保憲明
名古屋大学大学院医学系研究科	消化器内科学	大学院生	青木聡典
東京医科大学	消化器内科		糸井 隆夫
金沢大学医学部	放射線科		井上 大
順天堂大学	消化器内科	伊佐山	浩通
慶応大学医学部	内科	岩崎	栄典
福岡大学筑紫病院	消化器内科	植木	敏晴
関西医科大学	内科学第三講座	岡崎	和一
大阪医科大学	消化器内科	小倉	健
久留米大学医学部	消化器内科	岡部	義信
手稲溪仁会病院	消化器病センター	潟沼	朗生
都立駒込病院	内科	神澤	輝実
愛媛大学	消化器内科	熊木	天児
宮崎大学医学部	消化器内科	河上	洋
神戸大学医学部	消化器内科	児玉	裕三
京都府立医科大学	消化器内科	阪上	順一
東京女子医科大学	消化器内科	清水	京子
帝京大学医学部	内科	田中	篤
名古屋私立大学医学部	消化器・代謝内科	内藤	格
東京女子医科大学八千代医療センター	消化器内科		西野 隆義
横浜市立大学	内視鏡センター	窪田	賢輔
倉敷中央病院	病理部	能登原	憲司
JA 広島厚生連尾道総合病院	内視鏡センター		花田 敬士
信州大学医学部	消化器内科	濱野	英明
東京高輪病院	消化器内科	平野	賢治
東北大学医学部	消化器内科	正宗	淳
静岡県立がんセンター	内視鏡部	松林	宏之
愛知県がんセンター中央病院	消化器内科	水野	伸匡

6. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8560

愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院光学医療診療部准教授 廣岡 芳樹

TEL 052-741-2602

研究責任者：

〒466-8560

愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院光学医療診療部准教授 廣岡 芳樹

TEL 052-741-2602

研究代表者：

横浜市立大学附属病院 内視鏡センター 教授 窪田 賢輔

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

045-787-2800

e-mail: kubotak@yokohama-cu.ac.jp